

e news SEaweEDS No. 12

日本海藻協会ニュース

2009年3月15日

・協会事務局から

1. 理事会承認事項の報告

2009年2月16日付の書面理事会で次の事項が承認されました。

- (1) 2008年度事業報告及び収支決算（詳細は「海藻資源」No.20に掲載予定）
- (2) 2009年度事業計画及び収支予算（詳細は「海藻資源」No.20に掲載予定）
- (3) 第12回マリンバイオテクノロジー学会大会の賛助
- (4) 海の森づくり第3回こんぶサミットの後援

2. 年会費納入のお願い

本協会2009年度（2009.1.1. - 12.31.）の年会費（正会員30,000円、準会員10,000円）を未納の会員は至急納入してください。

3. 会報「海藻資源」の原稿募集

本協会の会報「海藻資源」の原稿を募集します。No.20は6月に発行予定ですので、原稿は5月10日までに事務局宛にお送りください。

4. シンポジウム等に対する要望をお寄せください

今後のシンポジウムや講演会について、テーマ、講師、開催地などの要望を会員から募ります。提案を事務局宛に積極的にお願いします。

・海藻関連ニュース

1. 日本藻類学会第33回大会 - 沖縄-2009 -

日本藻類学会第33回大会 - 沖縄-2009 - が2009年3月26 - 29日に琉球大学(沖縄県千原)で開催されます。詳細は日本藻類学会ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsp/Welcome.htm> をご覧ください。

2. 平成21年度日本水産学会春季大会

平成 21 年度日本水産学会春季大会が 2009 年 3 月 27 - 31 日に東京海洋大学品川キャンパス(東京都港区港南 4 - 5 - 7)で開催されます。詳細は日本水産学会のホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/jsfs/> をご覧ください。

なお、ミニシンポジウム「ノリ病気研究の現状と展望」(1.壺状菌の分類と漁場における探索、2.アカグサレ菌の分類学的研究、3.アカグサレ菌の越冬 - 生態と PCR 法による探索 -、4.スミノリ病菌のフェージによる探索と防除、5.ノリの病症名の問題点と改名について)が 3 月 27 日 13:00-16:00 に予定されています。

3. 海の森づくり第 3 回こんぶサミット(日本海藻協会後援)

NPO 海の森づくり推進協会主催の海の森づくり第 3 回こんぶサミット「豊かな海との共生をめざして:海の森づくり こんぶサミット in 壱岐・(青島)・函館・東京・青森・宇和島」が 2009 年 4 月 ~ 2010 年 3 月に開催されます。現在のところ、4 月末に壱岐、5 月に中国青島、6 月 5 - 7 日に函館、9 月に東京、12 月初旬に青森、3 月に宇和島の予定です。詳細は海の森づくり推進協会の横浜事務局 (Fax: 045-922-3448, email: shujiro.fujino@mbe.nifty.com) に問合せるか、ホームページ <http://www.kaichurinn.com> をご覧ください。

各地でのシンポジウムの他、オプションツアー(自費参加)

海女の里壱岐の村おこし見学ツアー(壱岐東部漁業協同組合)

中国のコンブ研究・生産拠点見学ツアー(青島海洋大学、中国科学院他)

昆布主産地の現地見学ツアー(昆布の里函館市南茅部、昆布館)

コンブの種苗生産地見学ツアー(青森市水産指導センター)

市民ぐるみ海の森づくり見学ツアー(宇和海に緑を広げ環境を守る会)が企画されています。参加希望者は「海の森づくり推進協会 松田恵明代表理事」(Tel/Fax 018-833-7734)宛にご連絡ください。

4. 第 12 回マリンバイオテクノロジー学会大会(日本海藻協会協賛)

第 12 回マリンバイオテクノロジー学会大会が 2009 年 5 月 30 日(土) ~ 31 日(日)に早稲田大学大久保キャンパス 63 号館(東京都新宿区)で開催されます。詳細は大会ホームページ <http://www.waseda.jp/assoc-marine/> または学会ホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/jsmb/index.html> をご覧ください。

5. 第 9 回国際藻類学会議

第 9 回国際藻類学会議 (The 9th International Phycological Congress, IPC9)が 2009 年 8 月 2 - 8 日にオリンピック記念青少年総合センター(東京

代々木)で開催されます。詳細は<http://www.ec-japan.jp/ipc9/index.html> をご覧ください。

6. 第 20 回国際海藻シンポジウム

国際海藻協会 (International Seaweed Association, ISA) 主催の第 20 回国際海藻シンポジウム (The XX International Seaweed Symposium, XX-ISS) が 2010 年 2 月 21 - 26 日にメキシコのエンセナダ (Ensenada, Baja California) で開催されます。会場は Marine Science Convention Center の予定です。参加登録並びにアブストラクト送付の期限は 2009 年 9 月 20 日です。詳細は <http://www.xxseaweedsymposium.org> をご覧ください。

. カレンダー

2009.3.26-29. 日本藻類学会第 33 回大会 (沖縄 琉球大) [Nos.9 & 10]

2009.3.27-31. 平成 21 年度日本水産学会春季大会 (東京 東京海洋大) [Nos.9 & 10]

2009.5.30-31. 第 12 回マリンバイオテクノロジー学会大会 (東京 早稲田大学 大久保キャンパス) [Nos.9 & 10]

2009.8.2-8. 第 9 回国際藻類学会議 (東京 オリンピック記念青少年総合センター) [Nos.9 & 10]

2010.2.21-26. 第 20 回国際海藻シンポジウム (メキシコ、エンセナダ)

. 海藻 Q & A

Q15 - 日本産海苔の輸出状況はどのようになっていますか？

A - 2008 年 (1~12 月) の日本からの海苔の輸出は、財務省貿易統計に基づく全国海苔貝類漁業協同組合連合会の資料によると、金額順のベスト 10 は次の通りです。乾海苔は、台湾へ 2,739.9 万枚 (18,557.8 万円)、アメリカ合衆国へ 768.4 万枚 (14,220.0 万円)、シンガポールへ 1,707.0 万枚 (10,103.9 万円)、韓国へ 1,205.0 万枚 (4,720.7 万円)、オランダへ 160.0 万枚 (3,535.0 万円)、中国へ 285.8 万枚 (1,219.9 万円)、タイへ 95.3 万枚 (435.4 万円)、香港へ 14.8 万枚 (416.3 万円)、イタリアへ 13.0 万枚 (265.8 万円)、ドイツへ 9.1 万枚 (252.1 万円) となっています。焼海苔・味付海苔は、アメリカ合衆国へ 13,918.0 kg (23,754.1 万円)、香港へ 5,883.6 kg (11,708.1 万円)、台湾へ 6,041.6 kg (11,687.4 万円)、フランスへ 2,143.7 kg (8,016.0 万円)、オランダへ 1,626.5 kg (8,006.1 万円)、イタリアへ 1,387.6 kg (6,639.2 万円)、シンガポールへ 2,855.1 kg (5,605.2 万円)、ニュージーランドへ 1,354.0 kg (4,660.4

万円)、タイへ 5,532.7 kg(4,387.4 万円)、ドイツへ 642.0 kg(3,786.4 万円)となっています。合計金額では、アメリカ合衆国 37,974.1 万円、台湾 30,245.2 万円、シンガポール 15,709.1 万円の順になります。また、輸出総合計は、乾海苔 7,086.1 万枚(55,360.6 万円)、焼海苔・味付海苔 49,452.2 kg(114,820.6 万円)で、計 170,181.2 万円となります。

これまでのQ & A

- Q1 - 「海藻」と「海草」は同じですか。(No.2 に掲載)
- Q2 - ノリの「色落ち」って何ですか。(No.2 に掲載)
- Q3 - 海藻が多様な色彩を呈するのはなぜか?(No.3 に掲載)
- Q4 - コンブやワカメは湯通しするとなぜ緑色になるのか? 焼き海苔はなぜ緑色か?(No.3 に掲載)
- Q5 - 海苔が湿気ると赤紫色になるのはなぜか?(No.3 に掲載)
- Q6 - テングサという種名の海藻はないのですか?(No.4 に掲載)
- Q7 - 「うみぶどう」は海藻の名前ですか?(No.5 に掲載)
- Q8 - 「キラー海藻」って何?(No.6 に掲載)
- Q9 - 日本の海苔は輸出されていますか?(No.6 に掲載)
- Q10 - 「髪菜(はっさい)」は海藻ですか?(No.7 に掲載)
- Q11 - 中国で栽培(養殖)されているノリは日本のノリと同じですか?(No.8 に掲載)
- Q12 - 「岩のり」と「青のり」は違うものですか?(No.9 に掲載)
- Q13 - 「心太」と書いて「トコロテン」と読むのはなぜですか?(No.10 に掲載)
- Q14 - 「鰐浦こんぶ」はコンブですか?(No.11 に掲載)

この協会ニュースは、主として会員の皆様からの情報・資料に基づいて、月1回(毎月15日付で)発行されます。情報・資料を下記宛にご提供下さい。

〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-1-11 第一坂本ビル 7F

マリン・サイエンス株式会社 内

日本海藻協会事務局

編集者：有賀祐勝 (arugay@mx4.ttcn.ne.jp)